

【担当者名】 土田 正一郎（非） 下出 崇輝（非） 賀古 勇輝（非）
鈴木 和 suzuki_w@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

本講義は精神医学 のアドバンスト・コースとして、精神医学 で学ばなかった器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動の障害等の理解を深めるとともに、精神科の治療法（薬物療法、身体療法、精神療法）、リハビリテーションなど臨床で行われていることを学ぶ。また、疾病構造の変化に伴う外来医療、在宅医療、入院医療の現状を統計的データと共に学ぶ。精神医学 では、精神科に関連した時事問題も取り扱う予定としている。

【学修目標】

社会福祉、特に精神医療福祉領域における臨床理解をより深めるために、主に以下の2点について学ぶ。

1. 精神科特有の治療法も含め、どのような療法があるのかを理解する。
2. 年々、疾病構造の変化に伴い精神科医療の在り方が変わっている現状を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神疾患の治療	精神科薬物療法について理解し、説明することができる。	下出
2	精神疾患の治療	電気けいれん療法などの身体療法、精神療法について理解し、説明することができる。	下出
3	精神疾患の治療	精神科リハビリテーションや環境・社会療法について理解し、説明することができる。	下出
4	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	疾病構造の変化や外来診療の方法について理解し、説明することができる。	土田
5	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	在宅医療（訪問診療・往診）や入院医療について理解し、説明することができる。	土田
6	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	当事者・家族との協同について理解し、説明することができる。	土田
7	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	医療観察法対象者の支援について理解し、説明することができる。	賀古
8	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	精神保健福祉領域におけるチーム医療について理解し、説明することができる。	賀古
9	世界での保健医療の現状	諸外国の精神医学の現状と課題について知り、説明することができる。	鈴木
10	精神科治療における人権擁護	精神科治療と入院形態やインフォームドコンセントについて理解し、説明することができる。	下出
11	精神科治療における人権擁護	精神科医療機関における隔離、拘束のあり方について理解し、説明することができる。	下出
12	精神科治療における人権擁護	精神科救急医療システムとその対象、移送制度による入院について理解し、説明することができる。	下出
13	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性	治療への導入に向けた支援や再発予防のための支援について理解し、説明することができる。	鈴木
14	世界での保健医療の現状	世界の保健医療の現状について自分の考えを述べるることができる。	鈴木
15	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性	精神科医療機関における多機関・多職種連携について理解し、説明することができる。	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

新・精神保健福祉士養成講座編『1 精神疾患とその治療』第2版（2016）中央法規

【参考書】

その都度紹介する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神疾患とその治療」に該当する。

【学修の準備】

- ・精神障害について、常日頃から広く興味関心を持ち、教科書や参考書、図書館の関係資料（新聞や雑誌、画像）を講義前、講義後に見ておくことが望まれる。
- ・予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（80分）。
- ・復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3

【実務経験】

土田 正一郎（医師） 下出 崇輝（医師） 賀古 勇輝（医師） 鈴木 和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健医療福祉専門職としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。